

まるごとだより 第11号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目次

☆「魚のゆりかご水田」の1年間の取り組み内容を紹介し
ます。

☆「魚のゆりかご水田プロジェクト」が先進政策大賞を
受賞！

☆わたしたちも
がんばっています。パート1
「今浜農地・水・環境向上組
合」 (守山市)

☆近江八幡市の「まるごと」
を紹介します。 (近江八幡市)

☆わたしたちも
がんばっています。パート2
「南浜集落保全委員会」
(長浜市)

発行 (2009.10)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地

水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com

まるごと対策の取り組みとして「魚のゆりかご水田」が県内24ヶ所で開催されています。
「魚のゆりかご水田」の1年間の取り組み内容をご紹介します。

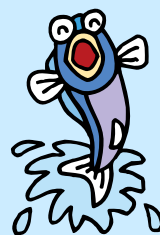
4
月



知内区農地・みずべ環境保全向上協議会
(高島市マキノ町知内)

【魚道の設置】

魚が田んぼで産卵できるように
魚道をつくります。
代かき前の排水路にせ
き板をはめることによ
り、濁水を抑える効果
もあります。



5
月

【魚の遡上と産卵後】

魚が容易に田んぼに入れるよ
うな一筆排水の管理や、中干し
までは田んぼの水を深めにする
など、きめ細やかな水管理が必
要です。

また、中干し前には稚魚が排
水路に流下しやすいように溝切
りなどを行います。

中
干
し
前



長沢環境保全の会 (米原市長沢)

中
干
し



魚のゆりかご水田協議会
(東近江市栗見出在家)

【稚魚の放流】

田んぼで数センチまで成長した
稚魚が琵琶湖に流下できるよう
魚道のせき板をはずします。

また、この時期に子どもを交
えた観察会を実施することによ
り、環境学習や活動の啓発にな
ります。

収
穫
時
期

【収穫】

イベントとして、非農家の方
にも収穫作業を手伝っていただ
き、「魚のゆりかご水田」につ
いてのご理解を深めていただ
くなど、生きものと人でにぎわ
う農村づくりを目指します。



せせらぎの郷 (野洲市須原)

お知らせ

★平成21年度地域協議会の主要事業計画の予定をお知らせします。

◎人・生きものにぎわう
農村フォーラム“2009”
期日；11月14日(土)
場所；守山市民ホール
内容；

- ・優良地区表彰
- ・表彰地区事例発表
- ・特別講演

中村靖彦氏

(農政ジャーナリスト、
元NHK解説委員)

- ・フォトコンテスト表彰
- ・パネル展示
(活動紹介)



・その他(会場内にフォトコンテストの全応募作品の展示)

◎第3回 農村まるごと保全技術研修会

期日；12月12日(土)

場所；長浜市

浅井文化ホール

テーマ；信頼と絆を深める
広報の取り組み

◎第4回 農村まるごと保全技術研修会

期日；2月6日(土)

場所；東近江市

あかね文化ホール

テーマ；濁水ゼロに挑戦し琵琶湖を守る取り組み

皆さんお誘い合わせの上、多数の方のご参加をお待ちしております。

「体制整備構想作成の手引き」を作成しました。詳しくはHPをご覧ください。

「魚のゆりかご水田プロジェクト」が先進政策大賞を受賞！

全国知事会による第2回先進政策創造会議が、8月27日(木)に東京の砂防会館にて開催され、『魚のゆりかご水田プロジェクト』が全国の先進政策情報をとりまとめた「先進政策バンク」に登録されている約1900件の中から、学識経験者や報道関係者、都道府県関係者による投票で、最優秀の先進政策大賞に選ばれました。

『魚のゆりかご水田プロジェクト』は、滋賀県が平成13年度より取り組みをはじめ、平成18年度は約40ha、平成21年度では約111haと取り組み面積の拡大をみせています。

取り組まれた地域では、「水田と琵琶湖との強いつながりを再認識した」や、「多くの子どもたちが水田を訪れるようになった」との声が聞かれ、成育したたくさんの稚魚が琵琶湖に帰っていく生態系の保全だけでなく、併せて環境学習や農村振興の面でも大きな効果が見られました。今後、ますます『魚のゆりかご水田プロジェクト』が継続される取り組みとなるよう、栽培された米を「魚のゆりかご水田米」としてブランド化を図るなど支援策も進めています。



わたしたちもがんばっています！

パート1

今浜農地・水・環境向上組合

(守山市)

代表 今井 利継

守山市今浜町は、守山の北西部に位置し琵琶湖に面した140ヘクタールの平坦な農地が広がる地域です。主に稲作が中心で、麦・大豆の作付けを行う、水田を利用した農業を展開しています。

琵琶湖に近いことから、少しでも環境に優しい農業や地域としての役割を考え、平成19年度から「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」に取り組み始めました。自治会組織、営農組織や子ども会の協力のもと、多くの人に参加、環境に興味を持ってもらい農地等の資源を次世代に引き継いでいきたいと考えています。

共同活動では、営農組織が農業者79戸による農地・排水路法面の除草を環境を考慮し、草刈り機を使って数回行うよう広報で促し、除草剤を使用しない様に推進し、また排水路の泥上げを、自治会210戸による4水路と営農組織による

8水路を年2回行い、充実した活動になっています。自治会組織では、コスモスを排水



路沿いに200m植栽して景観形成を行い、子ども会では、220,000匹のニゴロブナの稚魚をほ場に放流し、生物や水田に親しんでもらう活動も定着してきました。

水質保全では【濁水ゼロ】に挑戦しています。農業者への徹底が難しいですが、1年目より2年目、2年目より3年目と徐々に意識が高まってきているように感じています。今後もこの挑戦は、「琵琶湖に濁水を流さない」という思いで、取り組んでいきたいと思っています。

営農活動に関しては、平成20年度より〈環境こだわり米〉の作付けに取り組んでいます。今年は約58ヘクタールになり昨年より増えており、除草剤の低減・化学肥料の低減等による農作物の生産を全農家に取り組んでもらえるように推進しています。



近江八幡市の「まるごと」を紹介します



“景観農村振興の近江八幡市”

近江八幡市 農村振興課

近江八幡市の「まるごと保全」の活動は、市内79の農村集落のうち、共同活動に35集落が、営農活動には22集落が取り組まれています。活動面積は、共同活動が市内の農振農用地面積3,381haの約56%にあたる1,882ha、営農活動が約16%にあたる532haで実施されています。

共同活動においては、農業者を中心に年間計画を策定し、農業施設の点検・機能診断等、一年を通じて維持管理に努めていただいています。本対策が実施される以前から、施設等の清掃はされていましたが、本対策によってより広範囲に渡る清掃活動や、施設の軽微な修繕・改修等、幅広く維持・管理されています。

農業者以外の方も含めた組織全体で取り組む環境向上活動では、生態系保全と景観形成について、積極的に取り組まれています。生態系保全では、稚魚の放流をはじめ、魚道の設置、魚のゆりかご水田等の取組が多く見られ、ある組織では蜚の養殖にも取り組まれ、子どもたちの学習会開催に役立っています。

景観形成については、各組織で創意工夫され、特にコスモスやひまわりの植栽が広い範囲で行われており、季節に合わせて咲き誇る花によって町が明るくなり地域交流が深まると共に、



市外や県外からも多くの方が視察に来られています。その他にも、活動やイベント開催時には、広く参加を呼び掛けるためにチラシを作成し、また活動内容等の広報として、機関誌を発行されている組織もあります。



また、近江八幡市は琵琶湖や西

の湖といった水郷地帯に面し、平成18年1月には、「近江八幡の水郷」として重要文化的景観の第1号に選定されました。この重要文化的景観選定地域でも、水郷地帯という特色を活かしてまるごと保全の活動が行われています。さらに西の湖全域がラムサール条約登録地に認定されたことから、より広範囲で水質保全も含めた環境保全活動に取り組んでいただいています。

一方、営農活動においては、水稻をはじめ、大豆・なす・しゅんぎくやメロン等の環境こだわり農産物を栽培し、県内だけでなく、京都の市場へも出荷されています。年度を重ねるごとに取組面積を拡大され、こだわり農産物の生産を通じて、環境負荷低減に尽力されています。

まるごと保全の取組も3年目を迎え、中間年となりました。近江八幡市といたしましては、今後も組織の方々には、活動内容や目的について理解をしていただき、今まで以上に多くの方にご参加いただくようお願いをしていくだけでなく、地域協議会や東近江支部とも連携し、近江八幡市の素晴らしい特徴を活かした活動を推進すると共に、農業の保全と向上に成果のあるものになりたいと思っております。



質問コーナー

★(質問)

農村環境向上活動での広報活動とはどのようなことをすればよいのでしょうか。

(答え)

地域での取り組みを紹介したパンフレットや機関誌の作成配布や啓発看板の設置、のぼり旗の設置、またはホームページの開設と更新などがあります。

濁水防止



★(質問)

自治会などから一時的に立て替えて支払った場合、支援金が入金されてからどのように処理すればよいですか。

(答え)

共同活動、営農活動にかかわらず、活動についての支出を立て替えた場合は、交付金の入金後に返金する際に必ず領収書をもってください。立て替えた方が自治会でも個人でも同様です。



お知らせ

★インターネットによる情報発信を行っています。様々な情報をいち早くお手元にお届けできるため好評をいただいています。登録して頂ける活動組織については、本協議会までメール等でご連絡ください。

Mail

★活動組織の皆様からの最新情報をお待ちしております。活動に対する生の声をお聞かせください。この情報誌や、協議会のホームページなどでご紹介させていただきます。

編集後記

★稲の収穫作業も一段落し、皆さんもホッとひと息というところかと思えます。作業計画書や地域活動指針チェック表を確認していただき、活動に漏れの無いように、また事故等にも気をつけてがんばりましょう。

(A.W)



宇田環境保全会（甲賀市水口町宇田）



川合寺町自治協議会（東近江市川合寺町）



甘呂町ハリヨの会（彦根市甘呂町）

〈※地域の取組写真を掲載しています。みなさんからの提供をお待ちしています。〉

わたしたちもがんばっています！

パート2

南浜集落保全委員会（長浜市）

代表 中川 哲博

長浜市南浜町は、清き流れの姉川河口に広がる豊かな漁場と観光地として恵まれた地域です。

春の姉川は、四ツ手網漁の若鮎の活力ある漁場となっています。夏は、水質良好な長浜市唯一の水泳場であり、風光明媚な憩いの場として賑わっています。また、県下でも有数の果樹園に成長した、「南浜観光ブドウ園（南浜ぶどう生産組合 中川勲組合長 21戸）」があり、開園30周年を



経て、今では大粒系品種も植栽・販売され、水泳場と併せて観光ぶどう狩りで賑わっています。

これらを核に“にぎわいある農村をみんなで守ろう”を合い言葉に南浜町自治会（中川一輝会長 150戸）と共に活動を広げています。環境こだわり農産物については、食の安全・安心が重視される今日、水稻1,551a、ぶどう畑585aで環境



こだわり農産物の認証を受けており、特にぶどうについては、昨年全園が環境こだわり農産物に取り組んでいます。県の助言を得ながら消費者に安心していただける農産物を、また、湖岸でもあることから、濁水ストップ、琵琶湖に優しい農業として、近江米・南浜ぶどうを育むため、「環境こだわり」を励みとして、頑張っています。



滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと

検索



今回は各地で行われている広報活動(看板作成)の状況を掲載しました。